

We'll Find The Way ～はるかな道へ

教材研究

学習目標 思いをこめて明るい声で合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、テクスチャ
用語や記号など：2分休符

教材の有効性

1年生への応援歌

中学校で新しい生活をスタートさせた1年生への応援歌としてつくられている。自分の気持ちを込めたり、夢や願いをイメージしたりしながら、共感をもって歌うことができる。

分かりやすいテクスチャ

斉唱の部分と、呼びかけ合うような二部合唱の部分からなり、響きのイメージを捉えやすい。また、二部合唱の部分では、2つのパートの重なりを楽しむ味わうことができる。

拍を感じ取りやすい旋律と伴奏

旋律と伴奏は拍(ビート)を感じ取りやすくつくられているので、学級全体で拍を共有しながら、気持ちを合わせて歌うことができる。

その先へ

教材研究

学習目標 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A 表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：旋律、強弱
用語や記号など：D.S.

教材の有効性

中学校3年間を見通した愛唱歌

中学校生活のすばらしさを歌い上げた歌詞で、少し大人びた内容になっている。3年後卒業の時期にもう一度歌う機会が欲しくなる曲。

歌詞の気持ちに即した旋律と強弱

歌詞に描かれた気持ちの動きが、自然な形で旋律に写し取られている。強弱もそれに寄り添っている。旋律の動きや強弱を参考にしながら、音楽の盛り上がりなどの表現を工夫することができる。

効果的な部分合唱

斉唱を中心としながら、サビの部分は和声的な二部合唱になっているため、少ない授業時数の中でも合唱の満足感を得ることができる。

主人は冷たい土の中に

教材研究

学習目標 曲の構成を理解して演奏しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：旋律、強弱、形式、構成

用語や記号など：フレーズ、調、**Andante**、♩

教材の有効性

二部形式のまとまりを感じ取った表現の工夫

旋律、リズム、強弱、伴奏の和音などからA(aa')B(ba')という二部形式であることを理解し、その特徴を感じ取って表現を工夫することができる。

八長調の階名唱と終止感の理解

八長調の音階を確認して階名唱することにより、各段の終わりが「続く感じ」と「終わる感じ」のどちらなのかを理解することができる。

アルト リコーダーの基本的な奏法の確認とアンサンブル

アルト リコーダーの左手の運指を確認し、和音の移り変わりを感じ取りながら、歌と合わせてアンサンブルをすることができる。

赤とんぼ

教材研究

学習目標 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：リズム、速度、旋律、強弱

教材の有効性

歌詞の内容に注目した表現の工夫

「作詞者の言葉」や縦書きの歌詞を手がかりに、「赤とんぼ」「桑の実」「姐や」などの言葉から想起される作詞者の思いを理解し、表情豊かな旋律によって醸し出される情感を感じ取りながら、表現を工夫することができる。

音楽の構造に注目した表現の工夫

日本語の歌詞と旋律の動きとの関わりを理解したり、きめ細かく付けられた強弱記号の意味を理解したりしながら、自分のイメージを広げて表現を工夫することができる。

より深まりのある表現の工夫

1～4番の「現実から回想へ→回想→回想の深まり→再び現実へ」という歌詞の構成に合わせて、例えば4番のテンポを少し落として弱めに演奏するなど、表現の工夫をより一層深めることができる。

夢の世界を

教材研究

学習目標 曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：リズム、テクスチュア、構成

用語や記号など：拍子、*a tempo*、テヌート

教材の有効性

曲想の変化を生かした表現の工夫

〔A〕の部分……低音域で落ち着いた旋律の動き、*mf*、優しく落ち着いた感じの伴奏、など

〔B〕の部分……高めの音域で勢いのある旋律の動き、*f*、力強さや勢いを感じる伴奏、など

「学びのコンパス」を活用して、このような曲想の変化とその根拠について考え、〔A〕と〔B〕の曲想の違いを意識しながら、歌唱表現を創意工夫することができる。

混声三部合唱を通したテクスチュアの理解

初めての混声三部合唱として、テクスチュアが分かりやすく、その特徴を感じ取ることができる教材である。斉唱(〔A〕の部分)と混声三部合唱(〔B〕の部分)の2通りのテクスチュアが対照的に用いられており、実際の歌唱活動を通してテクスチュアへの理解を深めることができる。

8分の6拍子の感得と表現

8分の6拍子の拍子感とリズムを感じ取り、その特徴を生かしながら歌唱表現を創意工夫することができる。

君をのせて

教材研究

学習目標 パートの役割を感じ取り、曲想を生かして合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 旋律や強弱の生み出す曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(イ)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：旋律、テクスチャ、強弱

用語や記号など：調、*legato*、3連符

教材の有効性

短調の雰囲気を生かした表現の工夫

生徒にもよく知られた短調の曲で、物語の背景を考えることによって、主体的に歌唱表現を創意工夫することができる。

混声三部合唱を通したテクスチャの理解

女声のみの斉唱、多声的な混声二部合唱、女声と男声の斉唱、和声的な混声三部合唱の4通りのテクスチャが含まれており、実際の歌唱活動を通してテクスチャへの理解を深めることができる。

混声三部合唱の技能の習得

混声三部の部分は和声的に編曲されており、充実した響きを感じ取りながら合唱する技能を身に付けることができる。

イメージと音楽

教材研究

学習目標 イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、生活の中にある映像作品などに親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ア)、イ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律、強弱

教材の有効性

鑑賞の学習への導入

場面の状況や登場人物の心理などと密接に結び付いている映像作品の音楽を聴き、そこから得られるイメージと音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

イメージと音楽の特徴との関わりを理解

音楽から得られる様々なイメージ(曲想)と、音色、リズム、速度、旋律、強弱といった音楽を形づくっている要素との関わりを理解することができる。

映像作品における音楽の役割の理解

“ジョーズのテーマ”だけでなく他の映像作品の音楽にも親しみ、音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりや、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことで、映像作品における音楽の役割の理解をより深めることができる。

創作の学習との関連

創作教材「Let's Create!」(教科書 p.38)と結び付けて学習することによって、音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりについて、より深く理解することができる。

Let's Create!

教材研究

学習目標 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 音素材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(3)創作 ア、イ(イ)、ウ

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、テクスチャ、強弱、構成

教材の有効性

音素材の特徴を生かした音楽の創作

様々な楽器や身の回りのものなどの音素材の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、その知識を生かしながら創作表現を創意工夫することができる。

構成上の特徴の理解

反復、変化、対照などの構成上の特徴や、音の重なり方の特徴について、グループ活動を通して試行錯誤しながら理解を深めることができる。

鑑賞の学習との関連

鑑賞教材「イメージと音楽」(教科書p.36)と結び付けて学習することによって、音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりについて、より深く理解することができる。

春 —第1楽章—

教材研究

学習目標 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律、テクスチュア、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ア)、イ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチュア、強弱、形式

教材の有効性

バロック時代の協奏曲のよさや美しさの感得

曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、バロック時代の協奏曲のよさや美しさを味わって聴くことができる。

ソネットを活用した鑑賞

「学びのコンパス」を活用して、各部分の曲想とソネットとの対応について知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

協奏曲の特徴の理解

独奏ヴァイオリン、弦楽合奏、通奏低音からなる協奏曲の編成やリトルネッロ形式について知り、バロック時代の協奏曲の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解を深めることができる。

魔王

教材研究

学習目標 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B 鑑賞(1) 鑑賞 ア(ア)、イ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ、強弱

用語や記号など：調、*pp*

教材の有効性

歌曲のよさや美しさの感得

曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、歌曲のよさや美しさを味わって聴くことができる。

曲想と音楽の構造との関わりを理解

詩の内容に沿って旋律の雰囲気や伴奏の形などが様々に変化していくことを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

曲や演奏に対する評価

「学びのコンパス」を活用して、作曲者の意図した表現の工夫だけでなく、演奏者の表現の工夫についても考えながら、鑑賞体験をより深めていくことができる。

箏曲「六段の調」

教材研究

学習目標 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 箏の奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B 鑑賞(1) 鑑賞 ア(ア)、イ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、速度、旋律、構成
用語や記号など：序破急

教材の有効性

箏曲のよさや美しさの感得

日本の伝統音楽に触れ、音楽表現の共通性や固有性などについて自分なりに考えながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴くことができる。

箏曲の特徴の理解

箏の音色、引き色や後押しなどの奏法、都節音階に基づく旋律の特徴、速度の変化(序破急)などについて知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

箏曲の歴史や背景の理解

箏曲の歴史や作曲者として伝えられている八橋検校について知り、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解を深めることができる。

日本の民謡

教材研究

学習目標 人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 日本の民謡が生まれた背景や、声や楽器の音色、リズム、節回し、コブシ、囃子詞などの歌い方の特徴、音階などに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(イ)、イ(イ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律、形式
用語や記号など：拍、音階

教材の有効性

日本の民謡のよさや美しさの感得

生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考えながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって聴くことができる。

日本の民謡の特徴の理解

声の音色、節回し、コブシ、囃子詞などの歌い方の特徴や、拍の有無などにみられるリズムの特徴などについて知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

民謡の背景となる文化や歴史の理解

仕事歌、踊り歌、座興歌、祝い歌、子守歌などの民謡の分類を知り、それぞれの特徴を比較することで、背景の違いによる音楽の多様性をより深く理解することができる。

ソーラン節

教材研究

学習目標 声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 「ソーラン節」の声の音色、節回し、コブシ、囃子詞の特徴や曲が生まれた背景に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で歌い継がれている民謡に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A 表現(1)歌唱 ア、イ(イ)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ

教材の有効性

我が国の伝統的な歌唱を生かした表現の工夫

民謡の演奏を通してその声の音色や歌い方の特徴を感じ取り、自分なりに模倣しながら歌唱表現を創意工夫することができる。

曲種に応じた発声

模範演奏(音源)の演奏者による具体的なアドバイスを通して、声の音色や響きと発声との関わりを理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。

鑑賞の学習との関連

鑑賞教材「日本の民謡」(教科書p.58)と結び付けて学習することによって、表現と鑑賞の両面から郷土の伝統音楽への理解をより一層深めることができる。

アジアの諸民族の音楽

教材研究

学習目標 アジア各地の音楽を聴こう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) アジア地域の諸民族の音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) アジア地域の諸民族の音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、アジアの様々な音楽の多様性を認め大切にしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ウ)、イ(ウ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律

教材の有効性

アジア地域の諸民族の音楽のよさや美しさの感得

「学びのコンパス」を活用して、アジア地域の諸民族の様々な音楽を聴き、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わうことができる。

音色や旋律などの特徴の理解

器楽3種と声楽2種を取り上げ、アジア地域の諸民族の様々な音楽の特徴(音色、リズム、速度、旋律など)と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解することができる。

日本の伝統音楽との比較

日本の雅楽(教科書 p.52)、箏曲(教科書 p.56)、民謡(教科書 p.58)と比較聴取することで、楽器や声の音色、旋律の特徴などの違いによる音楽の多様性を、より深く理解することができる。